

平成30年1月18日
於

府中市役所北庁舎3階第6会議室

第6回

府中市廃棄物減量等推進審議会会議録

府中市生活環境部ごみ減量推進課

第6回府中市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 開催日時 平成30年1月18日(木) 午後7時00分～午後7時52分
- 開催場所 府中市役所北庁舎3階第6会議室
- 出席委員 10名
宮脇健太郎会長、志水清隆副会長、吉川澄夫委員、武野純子委員、谷澤ミツ子委員、土方文男委員、松下達郎委員、松林健一委員、山谷修作委員、渡辺信子委員
- 欠席委員 3名
大堀隆康委員、馬場利之委員、吉田陸子委員
- 出席説明員等
間宮生活環境部長、佐々木ごみ減量推進課長、田口ごみ減量推進課長補佐、桑田ごみ減量推進課副主幹、山下ごみ減量推進課3R推進係長、中川ごみ減量推進課指導係長、佐藤ごみ減量推進課指導係主査、山本ごみ減量推進課管理係主任
中外テクノス(株) 松岡氏、石津氏
- 議事日程
 - 1 諮問事項について
 - (1) パブリックコメント手続の実施結果について
 - (2) 答申書(案)について
 - 2 その他

午後7時00分開会

○**会長** みなさま、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまより第6回府中市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

まず、本日の委員の出席状況について、事務局より報告をお願いします。

○**事務局** 本日は委員13名のうち、10名の方のご出席をいただいております。大堀委員、馬場委員、吉田委員につきましては本日欠席とのご連絡をいただいております。

委員過半数の出席がございますので、府中市廃棄物減量等推進審議会運営要綱第5第2号の規定により、本日の会議は有効に成立しておりますことをご報告いたします。

○**会長** 続きまして、傍聴希望について事務局より報告をお願いいたします。

○**事務局** 本日は、傍聴希望の方はいらっしゃいません。

○**会長** 続きまして、本日の配付資料について、事務局より確認をお願いいたします。

(事務局 資料確認)

○**会長** 続きまして、前回の会議録の確認をしたいと思います。既に委員の皆様には会議録を事前に送付させていただいております。まず事務局に何か修正のご連絡ございましたでしょうか。

○**事務局** 委員の皆様からのご連絡は特にございませんでした。

○**会長** 委員の皆様方、ほかにその後、特に修正、指摘点などはございませんでしたでしょうか。

(「なし」の声あり)

○**会長** それでは前回の会議録の内容を確定することとさせていただきます。今後事務局において、市政情報公開室及び市のホームページなどで公開するというようにさせていただきますと思います。

【諮問事項について】

○**会長** それでは、これより次第に沿って議事の進行を行わせていただきます。

次第の1の「諮問事項について」でございますけれども、今回は(1)、(2)とございまして、(1)が「パブリックコメント手続の実施結果について」。それから(2)「答申書(案)について」という内容について、これより事務局から説明をしていただきたいと思います。それぞれに対して委員の皆様からいろいろご意見を頂戴したいと思います。

それではまず(1)パブリックコメント手続の実施結果について、事務局より説明をお願いします。

○**事務局** それでは、次第の「1 諮問事項について」の「(1)パブリックコメント手続の実施結果について」につきまして説明をさせていただきます。ここではお手元の資料1、それと一部ですけれども資料2も少し見たいと思いますので、両方ご確認いただけたらと思います。

まず資料1をご覧くださいと思いますが、1番、2番、3番とございます。一番上の1番です。「意見・提案の提出期間」というところでございますが、パブリックコメントにつきましては、平成29年11月27日月曜日から12月26日火曜日までの1カ月間、意見の受付をいたしました。

次に2番の「意見の提出者等」といたしましては、1名の方から2件の意見が提出されました。意見の提出方法はEメールでした。

3番の「意見の概要とそれに対する市の考え方」でございますが、意見の内容といたしましては、回収の頻度をもう少し上げてほしい。例えば「燃やすごみ」を週3回、「容器包装プラスチック」を週2回程度に引き上げてほしいという意見が1つと、もう1つは有料ごみ袋の価格を下げたいという意見、合計2点の意見がございました。そして、それらの意見に対する市の考え方でございますが、まず1つ目の内容ですが、ここで皆様、資料2、クリップどめの冊子を見ていただきたいと思うのですが、この冊子の53ページでございます。

資料の53ページには(6)家庭ごみの収集運搬体制の確認と書いてあるところがございます。ここには文章が5行書いてありますが、4行目から読みますと、「収集運搬の適切な体制については、収集運搬に係る費用や回収量の変化等の実績を元に効率性・利便性のチェックを実施していきます」とあります。このチェックを行う中で、市民の皆様のご意見を伺いながら検討してまいりますという市の考え方でございます。ちなみに現在、府中市におきましては、燃やすごみは週2回、容器包装プラスチックは週1回、回収をしております。そしてこの収集頻度につきましては、近隣の各市、横並びの一般的な頻度となっておりますが、この回収頻度については未来永劫決まっているわけではないということがございますので、日ごろよりチェックを継続してまいりますという回答内容でございます。

次に2つ目の内容でございますが、この資料2の冊子でいきますと49ページをあけていただきたいと思っております。この49ページには(7)適正な手数料の検討がございまして、ここを読みますと、「家庭ごみの収集有料化導入の効果について適宜チェックを行い、必要に応じて適正な収集手数料について検討を行います」とあります。収集手数料、いわゆる家庭ごみ指定有料袋の価格につきましては、例えば、燃やすごみ、燃やさないごみの袋でいきますと、多摩地区のほかの9市と同じ価格ということで、現在は設定されております。ただし、この価格につきましても平成22年2月のごみ袋有料化以来、府中市では変更をかけたという経験がございませんので、この価格の妥当性についても今後チェックは継続してまいりますという内容の回答ということでございます。

事務局といたしましては、いただきました2件の意見を受けまして、今回作成する計画の本文を修正するという点については、特に修正を行わないと今のところは考えてございます。まず今回の議題の1件目、「パブリックコメント手続の実施結果」につきましての説明は以上でございます。

○会長 それでは、ただいまのご紹介、パブリックコメントの概要でございますが、これについてご意見またご質問などがございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

私も読ませていただきましたが、妥当な回答ではないかと。書き方としては、表現としては問題ないのではないかと考えております。

○委員 多摩地域では、東京では週2回が可燃についてはもう一般的ですね。ただ過去においては、西多摩あたりの都市では平日毎日収集ということをやっていたところもありまして、それを週3にして、さらに週2にしてということですよ。

新潟県の都市では、新潟市を初めとして週3回収集が一般的です。一方で諸外国にいきますと、先進国では、ヨーロッパでもアメリカでも週1というのが一般的で、場合によっては

2週に1回なんていうのもあるのですね。そしてドイツの方などに行きますと、収集回数に応じて課金をするという有料化の制度をとっているところもありますよね。日本の場合は、梅雨どきから夏場にかけて高温多湿ですので、やはり週2回は必要ですね。それから容器包装プラスチックについては、もう週1回で十分ではないかと思えますよね。容器包装プラスチックについてはサイズ別になっていますので、問題はないかなという気がしますね。

○委員 どういう理由で3回、2回に増やしてほしいということは書かれてあったのでしょうか。

○事務局 特に夏場、保管しておくことによってにおいが気になるときがあるので、できれば回数を増やす方向にさせていただきたいというお手紙の構成になっておりました。

○委員 たぶんこの2回という形、また3回。袋の大きさが、燃やすごみの場合MとLですか。ちょうど2回ずつだとMだと2枚使うような形と、Lだと大きすぎる。Mだと2枚目が全部入り切らないですむと。私のほうの地区でその中間の袋ができればいいなという話が出てくるのですよ。これはまたお金がかかることですので、ご検討いただくようなことだと思いますので、よろしくお願ひしたいと思えます。その辺があれば、この3回というのが解消されるのではないかと思えます。

○会長 結構サイズの差が大きいので、その中間が置いてないですね。小さいと3回出さなければいけないので。

○委員 ちょっと大きくなれば間に合うと。

○会長 今回の計画に書くということではないにしても。

○委員 そこまでではないですけども。もしできれば、これも解消するのではないかなという気もします。

○会長 ぜひチェックの回数だけでなく、そのあたりもまたいろいろなご意見を吸い上げられるようにしていただけるといいのではないかなと思えます。理由も先ほどのにおいの件も似たような、近い内容でございます。

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。また後ほど最後に時間が残りますので、追加でご意見があれば、その際にお願ひしたいと思います。

それでは続きまして、(2)「答申書(案)について」ということで、こちらについて事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、(2)「答申書(案)について」説明をさせていただきます。ここではお手元の資料2番、クリップどめの冊子をご覧くださいと思えます。

資料の2の「答申書(案)」は、1枚目が鑑文になっていまして、2枚目以降は「府中市一般廃棄物処理基本計画(答申案)」ということで構成されています。1枚目の鑑文ですが、「府中市一般廃棄物処理基本計画について(答申)」というタイトルになっています。平成28年11月に開催をいたしました第1回の廃棄物減量等推進審議会におきまして、市長より「府中市一般廃棄物処理基本計画の改定に係る諮問」というものがございました。その「諮問」に対しまして、今回「答申」するという内容をとってございまして、文面に「答申」という言葉が出てきております。本日、内容を皆様にご了承いただきました暁には、正式な書面としてこちらの答申書を準備させていただくということになります。

2枚目以降は計画の答申案の冊子でございます。計画の内容につきましては、先ほどご説

明しましたとおり、パブリックコメント手続などの結果を受けまして内容を変更するということは特にございませんでした。今回お配りしたものは、前回10月の第5回審議会にて配付させていただいたその時点の計画案の内容に対しまして、ごく一部でございますが、微細な修正を入れさせていただいております。全体的に文字の大きさを調整しているということです。あとは数箇所、この冊子には図表がたくさん出てくるのですが、その図表の脚注に説明書きを追加させていただいたりということで、詳しくさせていただいているということがございましたが、全体を通しまして内容が大きく変更になっている箇所は特にございません。こちらの冊子につきましても、皆様にご了承をいただきましたら、正式な答申資料ということにさせていただく予定です。

今後の予定でございますが、答申書につきましては、来週なのですが、1月22日月曜日に会長と副会長に市役所においていただきまして、市長に答申書を提出していただくという予定になってございます。市ではその答申書の提出を受けまして、計画策定の庁内諸手続を進めまして、年度内にこの計画を策定するという予定にしたいと考えてございます。

2番につきましての説明は以上でございます。

○会長 今、紹介ありましたように、前回10月の段階のものから少し修正させていただいたところのみということでございますので、簡単な紹介となっております。

全体につきまして、ご質問、ご意見なりいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

感想としては、きれいにまとめられてはいらっしゃるということと、当初のものに比べまして、だいぶ一般市民の方から見ていただいても読みやすく整理されたと、項目立ても含めてですね、感じております。データ量等が非常に多いので、普通の市民の方が、最初から最後のページまで読破されるかどうかということとはわかりませんが、おおむね知りたい情報が各所適切に散りばめられて、見やすくしていただいたとは感じております。

○委員 公表後のことなのですが、この基本計画は、市のホームページでおそらく公開すると思うのですが、PDFでと思うのですが、結構後ろの数字等々、おそらく学校とか小中学校の生活科とか環境の学習とかでこういった数字を使って、いろいろな材料にもなるかなと思ひまして、特にこの資料3とか、このあたりの数字をPDFで公表すると。手で打つのは結構大変なので、もしエクセルのファイルとかがあれば、その資料編だけでも、おそらくこれ印刷するときにはエクセルでつくっていると思うので、そういったものも市民が利用できる形で、利用しやすいファイルの形のものもあわせて掲示していただくと、使い勝手がいいのではないかなと個人的には思いました。

○会長 環境省等でも、全国の自治体のデータ等を、毎年、毎年度整理されたデータがエクセルでも公表されています。準備等、データの取り扱いとかいろいろ作業があるかと思うのですが、可能な範囲でぜひ、非常にいいご意見で、いろいろなところで使いたときに使えると便利ですので。

○委員 これ概要版もおつくりになるのですよね。そうすると、その概要版を小中学生に紹介することもできるのではないのでしょうか。

○委員 夏休みの自由研究のときに、府中市のごみの量の変化とか、そういうことをしたりする人もいるのではないかなと思ひました。

○会長 せっかくなので、極力いろいろな、幅広い市民の方に見ていただくよ

うな形で準備していただければと思います。その他、いろいろな視点で、今、公表、公開の状況とか、今後の使用方法等についてご意見が出ておりますので、中身だけではなくて使い方とか、ちょっと幅広くにご意見などを出していただけるとよいかと思います。

○委員 47ページの「施策体系」なのですけど、35項目もあるので、これは役割として市がメインでやります。これは事業者の協力を仰いでやります。これは市民の方の協力が要ります。特に市民の方にご協力いただかなければいけないものの横に3つくらいマスをつくらせて丸をつけるとか。そうしたほうがもっと伝わりやすいのかなと。すごくわかりやすい表にさせていただいたのですけど、さらに。

○会長 確かに後ろの本文の中には、マイバッグですと市民だったり、販売店の協力によるとか、事業系のところであるとか、そういった形。文章を読めば理解できるということですが、ぱっと見たときにそういうのもあるとわかりやすいということですね。すぐ間に合うかどうかということもありますけれども、少し検討させていただいて。

○委員 お願いします。

○会長 可能であれば、概要版は特に、もっとそういうところがはっきりわかるようにしていただくとよいのかもしれません。これももちろんそうなのですけども、概要版のほうに、あまりに省略され過ぎて、まさに誰が何をやるのかなというのは、後ろの文章もなくなってきますので、そういうところの対応の方法もあるかもしれません。ご検討よろしく願いいたします。ほかにかがでしょうか。

第5回までにかなりたくさんのご意見をいただきまして、かなり委員のみなさまの意見を参考にさせていただいて、よい形で、今回は答申案という形で計画案ができ上がっておりますので、それほど多くの意見とかご質問はないかと思っております。もしあまり問題がないようでしたら、答申案を進めさせていただければと思っております。また、資料1枚目の鑑文も、本来であればご意見をたくさん出していただいた委員の皆様方の名前を列記できればというものでございますが、形式的なものでございまして、司会進行を務めた者が代表者名で出すというのが通例になっているようでございますので、ここは私の名前を書かせていただくという形でご了承いただければと考えております。

それでは、議事自体は2つ終わりまして、「その他」というところになります。多少時間に余裕がございますので、せっかく第6回、今日までこのようなしっかりした形の計画を答申できるということになりましたので、可能な範囲で結構ですので、一言ずつご感想、または今後の市の取り組みについてのご意見などをいただければと思いますので、ご協力よろしく願いいたします。もちろん特にない場合は、十分に今まで話をしたということでも結構ですし、今回が最終回でございますので、簡単で結構でございます。もちろんたくさんご意見がある方はたくさんお話をいただいても、全く遠慮する必要はございませんので、一言いただければと思います。

○委員 今回参加させていただいて、府中市の事務局の方が一番大変だったと思うのですけれども、いい資料になってよかったなと思っております。あと、これは実際に運用、市民の方、それから事業者の方に協力いただいて、実行していくのが一番大切なことだと思うので、そこをしっかりとできるようにして、自分もさせていただきますけれども、市民の方の協力を得られるような形で進めていただけたらと思います。

○委員 家で炊事をしているときとか、やはりちょっと減量しなければいけないかなということで、たまごの殻をそのままやると、そこにお水がたまってしまうのですね。なので殻を割って捨てて、そうするとお水がそこにたまらないので少しは水分がなくなるかなと思って。これに来てから、家で子どもたちにも減量したほうがいいよということを伝えたり、あとは紙ものばしてリサイクルのほうにやったり、缶も今まではそんなに洗うことはなかったのですけれども、一生懸命洗ってに过瘾がしないようにして。こういうところに来ると自分の生活の態度もちょっと変わってきて、少しよかったなと思っています。ありがとうございました。

○委員 参加させていただきまして、ありがとうございます。ごみ問題は永遠のテーマだと思ひまして、なかなか解決にまではいかないと思ひます。スーパーでこんな光景を見たのです。今、お野菜がすごく高いですね。キャベツとか、上のほうはみんなむいて、若い人でも、私なんかもやるのですが、そういうものは捨てていきますよね。それを親子の方が拾っているのですよ。前はうさぎとか学校で飼ったりなんかしていると、八百屋さんでもらって持っていたのですが、「どうするのそれ」と子どもに聞いていたら、「まだ食べられるじゃない」と。だからスーパーでそうやって持っていたら、それはスーパー側とのあれもあるのかなとは思ひたのですが、ちょっと口出しはできないけど、ちょっと後ろからしばらく見ていたのですが、袋に入れて、「えー、そんなに」と子どもさんは言っていた。若いお母さんでした。袋に入れて持って帰られたのですが、そんなこともあります。

今、スーパーでも何でも、ペットボトルでもトレイでも本当に協力的にしてくれますからいいのですが、もう少し、今度プラスチックの入れ物。やたらに今、入っていますよね。野菜から何から何まで。そういうものを回収してくれているところもあるので、できないことはないと思うのですが、やはり、今、人手不足ですし、人件費が大変だと思うので無理は言えませんが、そんなこともしてもらえればちょっと減っていくかなと思ひます。まだまだいろいろな人に聞かれても、即答できないものもたくさんありますので、まだまだ勉強していきたいと思ひます。ありがとうございました。

○委員 本当に勉強にはなりました。20年からやっているものですから、ごみ減量、子どもたちと今、研究は相当進んでおりますので、もう少し体が続く限りは頑張っていきたいと思ひています。本当に今回はありがとうございました。

○委員 いろいろ勉強させていただきまして、本当に、また業者側から見ても大変いい勉強になったと思ひます。ありがとうございました。やはり私たち最終的に、最終回収という形で一番現状が、従業員の収集員たちもわかっていますので、それを今後もごみ減量推進課の方たちと密に詰めていって、どんどん意見を述べていって、よりよいリサイクルとこういう減量を進めていけたらなと思ひますので、今後ともよろしくお願ひします。

○委員 市民公募ということで参加させていただきました。ごみ減量推進課の皆さんの熱意や事務局の方のご苦勞、非常に印象的でした。また各委員の方のいろいろな視点というの、自分にとっても大きな影響を頂戴いたしました。改めて御礼申し上げます。自分自身の考えとか行動も明らかに変わったことを自覚しております。計画の中にも市民参加による取り組みの継続と拡大を進めますという一文を記載していただいていますし、また私自身も自分としてそういう何ができるのかというのを、これからも考えていきたいなといういいきっかけと

なりました。ありがとうございました。

○委員 これに参加させていただきまして、いろいろ勉強になるところが多かったと思います。おもしろいといえますか、府中市のような活気のある、まだ若い人が結構多いという街で市民アンケート調査をされて、37ページあたりに出ているのですけれども、20代で全くごみに関心がない、分別に関心がないという人が25%もいるのですね。だんだん年齢を経るに従って、ごみへの関心が高まってくるという、非常におもしろいアンケート調査も見せていただいたと思います。

府中市さんの場合は、ごみ減量は随分進んでいるということでも有名でして、特に家庭ごみがすごく少ないということなのですけれども、23ページのあたりを拝見しますと、厨芥が半分くらいあって、分別不適物のところで紙類ですね、12%ある。繊維が7%近くあるのですね。こういう実態もあるということですよ。

それと、今日はちゃんぽん屋でちゃんぽんを食べてきたのですが、遅れてはいけないなというのもありましたし、年をとりまして、あまりたくさん食べなくなったということで、ちょっと残してきたのですが、店員の女性に「小盛はないのかい」と聞いたら「ある」と言うのですね。天井のチェーン店なんかでも隣のお客が小盛でというので、改めてメニューを見て、ないのですね。店員に聞くと、「ここにありますが」と言うのですけれども、ものすごく小さく書いてあるのですね。そのちゃんぽん屋も一応メニューは見たのですが、おそらくどこかにもものすごく小さく書いてあるのだろうと思うのですね。だからこのあたりですね。市の広報で食品ロス削減にこれから取り組まれるということですので、ちょっと働きかけをしていただきまして、もうちょっとメニューに大きく「小盛メニューあります」と書いていただくようなことで、お店の協力を促していただくということをお願いできればと思います。

1年ちょっとですけれども、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

○委員 私も選んでいただいて、参加させていただいて本当によかったと思っています。いろいろありがとうございました。勉強にもなりました。

今、いくつか申し上げたいのは、1つは、ものすごくこれ力作だと思うのですが、やはり一般の方がこれを熱心に読むことがあまり想像できないので、何か絵入りで、いくつかのキーワードを、この平成30年からの新しい計画を象徴するようなキーワードをつけた、簡易版とさっきおっしゃっていましたが、さらにごみカレンダー的なわかりやすさのもののチラシなりを工夫していただいて、ぜひこの成果を、市民のところまで広げていただきたいと思うのですね。というのは、私、こういうことで選んでいただいて、こういうところに出席して、「次の10年のためにこういうものについて意見交換しているのよ」と。「こんなすばらしい意見が出たのよ」と言うと、とても関心を示されるのですね。年長者のほうに入るからかもしれませんが、先ほどの委員の方がおっしゃったように、本当にたまご1つ、殻1つ割るのでも、本当に皆さん工夫なさっているの、自信を持って指導を進めていただくと、ちゃんと市民はついてきていると思うので。ただ「協働」というキーワードがありますよね、府中市の大事なキーワード。そういうふうに誰でも知っているような段階までいくつかのテーマを絞って、全部大事だけれども、絞って普及するようにしたらいいと思うのは、先ほどもおっしゃっていましたが、今、野菜がものすごく高くて、この間テレビで、いかに安く鍋物

をつくるかという番組をやっていたのですね。そしてこれとこれとこれはあまり変動がないから使ったほうが良いと。その中に豆苗がとても良いという話が出ていたのです。値段も安定しているし、栄養もあるし。それで私もすぐそれに動かされて買い物で見たのですが、それ以降、豆苗をぱったり見なくなってしまったのですね。だからキーワードの恐ろしさ。普及したときにもものすごい力を持つと思うので、ぜひそういうことを参考にして広げていただきたいと思います。

それから、私もちょっと忘れてしまったのですが、この有料化が始まったときにカラス除け用ネット。あれ1個目は無料でいただきましたよね。この間、近くのご年配の方が、あれがどうしようもなくなってしまったのだけど、次のものをもらえるか市役所に聞いてほしいとうちに言って来られたので、私が電話をかけて聞いたならば、あれは島忠で買って下さいと言われて、その年配の方はものすごくがっかりしていらっしやっただけけれども、あれもごみの捨ててあるところを見て歩くと、繕って繕って、皆さん大事に大事に8年間ですか、使っていらっしやるわけですよ。もし予算が可能であれば、毎回支給はあれなのですが、この10年に1回でもいいですから、この「新しい10年に際して」でもいいですから、もう1回ぐらい無料配布をしたらかなりありがたいと思うのではないかと思います。それでまたその次の10年を大事に繕って皆さんお使いになると思うので。そういうことででも市との結びつき。「ここまでやってくださっているのだな」と。予算が許せば、次の10年の1つの目玉として、壊れている人は支給しますよというのを市報なんか載せていただくと、とてもありがたいと思う方が多いと思うのです。気がついたところはそれくらいです。

○副会長 あっという間に第6回ということで、早いもので審議会もこれで終わりかということになりました。皆さんからさまざまなご意見をいただきまして、それをこういった1つの書類にまとめて基本計画というものができたということは、やはり皆さんの努力によるものではないかと思います。

ごみの問題というのは永久の課題でございまして、この答申の基本計画ができたからといって、それでごみが少なくなるわけではございません。これからがやはり、この答申に基づいた、計画に基づいたごみの減量というものを我々がやはり心がけていかなければならないと考えております。

この計画の最後のところに「用語集」を今回載せていただいております、これもやはりわかりやすい、理解を得るための1つのガイドラインみたいなものであると、ますますこの用語が増えてくる可能性の中にはあるのではないかなと思います。そういうときにまた足していただいて、わかりやすい、誰が読んでもわかるような、そういった基本計画を今後続けていく、また我々もこれに基づいて少しでもごみを少なく、減量していく努力を重ねていく必要があるのではないかと思います。今回皆様とご協力いただきましたことに深く感謝を申し上げて、最後になりますけれども、今後ともひとつ頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○会長 皆様方どうもありがとうございました。私も最後に一言御礼を申し上げたいと思っております。

1年少々ですか、第1回から各回、夜の遅い時間にお集まりいただきまして、そして各回さまざまなご意見をたくさんいただいて、修正をしていただけたということで、非常にすば

らしい皆様とともにいい時間を過ごさせていただけたと感じております。また最終的な結果を今、副会長からもお話がありましたように、非常にすばらしい形で取りまとめをさせていただいております。私としては皆様方に非常にありがたいなと思っております。ありがとうございました。

また、先ほどこれからという話もありました。今回の審議会の仕事というのは、我々に課せられた使命は1を達成したということではございますけれども、府中市、市としての立場としては、これができたと、完成というよりは、ようやくスタートラインに立ったということで、これから10年間かけて市の皆様、市民の皆様と市と事業者の方ということで、さまざまな形、いいキーワードが出ていましたように「協働」ということが非常に大事なキーワードでございますので、これからがスタートラインということで、よりよい府中市のごみの行政というか、ごみの問題を解決するための第一歩になるのではないかなと感じております。本当に長い期間でございましたけれども、どうもありがとうございました。

それでは「その他」。続きまして、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局 本日、第6回の審議会の会議録を後日つくることになるのですが、会議録は通常、会の冒頭で皆様に修正はございませんでしたでしょうかという確認を得た上で公開という流れにしているのですが、今回で会議が最後、次回に確認する審議会がないので、今回の第6回審議会の会議録につきましては、でき上がり次第皆様に郵送させていただきます。皆様に修正はないでしょうかということでお尋ねをさせていただきたいと思っております。

いただきました修正ポイントにつきまして集計をいたしまして、それを修正した上で会長に最終的には確認をいただいた上で公開という流れにさせていただきたいと思っております。ちょっといつもと公開の流れが違いますが、そういうことでさせていただきますので、ご承知おきください。どうぞよろしく申し上げます。

○事務局 それでは、ここで本日最後ということでございますので、生活環境部長よりご挨拶をさせていただきます。

○生活環境部長 委員の皆さんにおかれましては、平成28年11月から長期にわたりまして、お忙しい中、また夜間にもかかわらずご熱心なご審議をいただきましてありがとうございます。おかげさまで非常に内容の濃い、立派な答申書ができたと感謝しております。

私も平成の初めころ、清掃課におりまして、そのころは、二枚橋焼却場はいっぱい、谷戸沢処分場は満杯という中、非常に危機感のある中、一般廃棄物の処理計画をつくりまして、内容はどちらかというと集めたものをいかに燃やして、いかに埋め立てるか。そういった内容に主眼を置かれていたものと考えています。現在では、ごみ改革によってダストボックスの廃止、有料化などによって、ごみも少なくなったこと。またごみ処理施設も非常に整備されたこともあって、ごみは円滑に処理されている。そういう中で市民も、そして市の職員もどちらかというと危機感が少し薄れてきてしまう、そのような気がします。この計画の策定を機に新たな目標を設定し、市民の皆さんと一緒に新たな気持ちでごみの減量・リサイクルの推進に努めるとともに、さらに廃棄抑制や再利用、そして先ほど言った食品ロスなど、そういったものにも努めていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

また、委員の皆様におかれましては、引き続きさまざまな場面でご指導、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○会長 それでは、これで本日の議題は全て終了いたしました。繰り返しではございますけれども、皆様方のご意見のおかげで、さまざまな計画上の問題も改善されていると思います。ご協力ありがとうございました。また先ほど最後に一言ということでいただいた中にも、複数、今後の方針に非常に役に立つご意見が出ておりますので、また事務局におかれましては、さっきの最後の一言、感想というだけではなくて、ご意見として今後の行政に取り入れていただければと思っております。

それでは、本日はこれで閉会といたします。お疲れさまでした。どうもありがとうございました。

午後7時52分閉会